

**日本五大噺**

日本五大噺は、  
 日本一の小説家  
 曲亭馬琴翁の名作を  
 京の薙兵衛大人が、  
 お伽噺に直されて、  
 芳景先生の密書を加へた  
 奇麗なく、面白い  
 本であります。

東京市日本橋區榎正町  
**文祿堂書店**

全一册 定價拾錢  
 (郵税四錢)

**新撰受驗寶典**

總ての受驗者の好師友

第一編 全二十册

- 日本歴史問答
- 日本地理問答
- 外國地理問答
- 理化學問答
- 算術問答
- 國語問答
- 文法問答
- 修身問答
- 教育學問答
- 教授法問答
- 學校管理法問題

○第一篇續て發行す

總ての受驗者の羅針盤

發行所 帝國通信講習會

東京市本郷區森川町一番地  
 東京日本橋區本石町三丁目

發賣所 金昌堂

定價金 拾三錢

五册前金六拾錢

十二册壹圓四拾錢

四月より毎月二册

づゝ發行し九月に

至り全十二册完了

本書は問答的講義

録にして試驗問題

と其答案とを數多

登載して受驗者の

便を圖れり

此廣告依御注交之御方人婦と子供を見たる御附記を乞ふ

春巻

家産讀本

堀内新泉著

定價拾六錢 郵稅四錢

開發社

東京美土代區田町

丁一貳

目地

關根正直先生校閱 杉山文悟君 杉山俊之助君 共編

增訂三版

# 國史通釋

全一冊 定價金四拾錢 郵稅金四錢

- 本書は日本歴史を修むる者殊に之が檢定試驗受驗及斯道の獨習者の便に供せしむる爲めに編纂したるものにして各項に收めし事柄は左の如し
- (一) 人名(又は) 古來歴史上に顯はるる人名(又は)神名を列擧し正確の讀書を示し其事跡を摘記す
  - (二) 地名 古戰場及城柵を擧げ其所在地を示し且歴史上如何なる事のありしかを記す其他片史上に關係ある地名
  - (三) 政治法律 官職、位階、俸祿、貨幣 其他諸制度法令等を擧ぐ
  - (四) 風俗 家風、飲食衣服及冠婚葬祭に關する事項其他種々の遊戲
  - (五) 學問 古來著名の書籍の解題、漢學、私學及現時の諸學校、起原沿革
  - (六) 美術工藝 繪畫、彫刻に關する事項、織物、染物 樂器其他廣く美術工藝に關する事項
  - (七) 宗教 神祇、佛閣、宗教の諸宗 派、宗教上の祭禮等
  - (八) 雜 前七項の何れにとし定め難きもの及 其何れにも屬せざるものを擧ぐ
- 以て本書が如何に必要有益の書なるかを知らべし乞ふ一本を備へて其の眞價を試みられよ

發兌

金昌堂

杉山辰之助

(電話本局九百五十八番)

東京市日本橋區本石町三丁目

(後付の二)

● 總南多田房之輔主筆

國民教育

會機關雜誌

# 日本之小學教師

第貳拾九號五月十二日發行  
一冊價金 拾 錢  
六冊前金 五拾七錢  
外に郵稅 壹錢づゝ

本誌生れて三周年節 茲に一大改良を加へ特に新紙條例によりて發行すこととせり 抑一面には適切なる材料を撰擇して教室内の燈明となり、一面には侃々以て小學教師擁護者たるの任務を貫徹せんとするは本誌の大主眼なり。不羈獨立の本誌が如きの活潑説利なる運動を試み、斯道 貢獻となすか本誌以下と讀みし知れ。本誌には●肖像、東京水野浩 京都柳井上半介、熊本三浦辰彦、長野寄藤好實の四小學校長●論説、師範學校の弊害 第二十二世紀の小學教師●教授及管理 遊戲の方針 町田利文 國語科の綴方教授 佐々木吉三郎 修身科教授 (立柄教俊) 三重縣師範學校附屬小學校兒童操行調査手續及同校兒童學業成績考查手續 ○東京府師範學校附屬小學校學業成績規程 ○如何にして首德教育國民教育の基礎を造るべきか (承前) 藤崎太郎 ○北海道師範學校附屬小學校各科教授段階 ○福井縣師範學校附屬小學校教案例 ○岩手縣師範學校附屬主事森山君に質す (岡安末吉) 遊戲の種類 (岡山縣師範學校附屬小學校) ●學術講義社會學十回講義 (第七回) 遠藤文學士) 日獨初等教育制度の比較 (中谷延治) 教育小説ゲルトルト物語 (記者) ●問答、物理學問答 (樂水生) ●批評、三浦渡世平氏と根本莞爾氏 ○愛媛縣師範學校校長佐野川泰彦君 ●教育家傳記、故理學博士伊藤圭介翁及東京市小學校校長水野君の傳 ●小學教師界 普通免許狀受領者 ○熊本縣正教員俸給半額并高給教員 ○小學校教員の懲戒 ○福岡縣小學教員の統計 ●内外彙報 視學官津連 ○東京市小學校授業料 ○渡部董之助氏と正木直彦氏 ○小學教師 ○苦學の結果 ○教育品獎勵品授與式 ○東京市小學校 展覽會 ○第二回研究科學生 ○新彙報 ○那珂通世氏と三宅米吉氏 ○高等師範學校校務上の革新 ○教育界苦情種一束 ○地方教育彙聞 ○外國彙報等例により材料豊富

發行所

東京市神田區表神保町一番地

東京市日本橋區本石町三丁目

國民教育社 金昌堂

世の教員  
父兄諸君  
幸に愛兒

# 教育童話

の爲に紹  
介の勞を  
取られよ

本書は小學校賞與品及び家庭の讀本に最も適當せり

第三篇

## 教育童話 菅丞相

附 丑 話

丑の三十四年  
一月發賣  
定價金八錢  
郵稅金貳錢

東は奥州の果より西は筑紫の極みに至るまで、一縣一郡の間天満天神の社よきはなし、天満天神とは何ぞ、即ち菅丞相道真公これなり、道真公は延喜の朝に仕へて治績休明、勳功顯赫たりしことは人の略ぼ知る所なり、敬せられ、その像を掲げ、戸々これを祭らるるまで、教師學童の爲に尊敬せられ、その以のものは、必ず其然る所あればなり、是を以て近來菅公を研究するもの漸く多く、日に月に見るに至れるは誠に喜ぶべき事共なり、然れども其書た多稼散人つねに之を懐にし、こゝに筆を執て兒童の爲めにするもの少なし、多に、兒童走卒をして一讀了解し易からしめ、且つ書工をして毎頁圖畫を挿しめ、一讀の下、菅公の人となり、公の一年祭を行ふの事あり、公の事を研究するものは是より益々多かれより大なるものあらん、速かに一本を座右に備へて公の人と爲りを知れ。

附録には「牛の話」あり、短篇のお伽話にして、無邪氣なる所兒童の讀むに任せて亦一興。

### 教育 童話

第一編 第二編 第四編

大黒天續編  
大黒天續編  
大黒天續編  
大黒天續編

近刊

郵定 郵定 郵定 郵定  
稅價 稅價 稅價 稅價  
金金 金金 金金 金金  
貳八 貳八 貳八 貳八  
錢錢 錢錢 錢錢 錢錢

堂 昌 金

町石本區橋本日  
地番三十二目丁三

肆書行發

文部書記官法學士松本順吉君著

# 小學校令施行規則 註釋

菊版文字一ノ入  
定價金 壹圓  
郵稅金 八錢

小學校令改正せられ我國小學教育に刷新を加ふべきの時機に際し此時に當り能く同會の精神を研究し以て小學教育の普及上進に資するは教鞭を執らるる教員諸氏は勿論教育行政の衝に當るる諸氏の最も急務とせらるる所なるべし本館茲に慮ばかるるところあり同令の起草に參與せられたる松本君に請ひ小學校令及同施行規則に註釋を施し之を梓せんとす本書は丁寧各條の精神を明にし親切に其應用を示したれば以て小學校教育の指針と爲すに足らん請ふ陸續御申込を以て

追而令般愈々製本出來候處 此廣告により御申込の諸彦に對して  
(注) 發兌部數意外に多きを以て 定價の 一割引金九拾錢を以て 貴  
意は特に定價の 一割引金九拾錢を以て 貴  
文部書記官兼參事官法學士松本順吉君著

## 既刊 教育行政法要義完

附小學校令 定價金 五拾錢  
並施行規則 郵稅金 四錢

近來教育事業の大に擴張せられたるにつき教育に關する議論亦盛に行はれて著書の多き汗牛充棟も當ならず  
特に第一講を公にして未だ殆んば講せられざるは教育に關する行政法規の法理なり著者夙に之を憂へ  
公務の餘暇本書を公にして教育行政の法理を闡明し以て我教育界の刻下の急に應せんとす叙述簡約にして明  
晰學理に偏せず實地に泥まらず當に教育家の法理研究に資するのみならず又大に實務家に便益を與ふべし乞  
續御購讀あらんことを

### 發兌元

東京市神田區南神保町四番地 書肆

明倫館

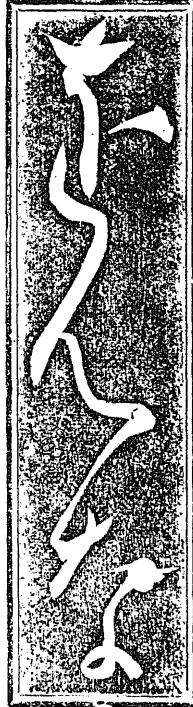
### 大賣捌所

東京日本橋區本石町三丁目廿三番地

金昌堂

總裁 小松宮大妃殿下  
副總裁 鍋島侯爵夫人  
發行所

東京市麴町區土手  
三番町 十八番地  
大日本女學會



第參號發兌 (第一號第二號)  
(再版出來せり)

定價金十五錢 全國無遞送料

大賣捌 東京市神田區表  
神保町三番地 東京堂

(卷首插畫) 福羽子爵半懷紙 ○ 方鎮子童歌かる (論說) 女子 體育安井哲子 ○ 迷ひ十時文學士 (學藝) 科學大意  
島村龍太郎 ○ 美術一斑紀淑雄 ○ 沙翁梗概 ○ 歌文批評今泉定介 大口圓二 (修身) 未來の姑嶋山春子 (齊家) 泰西禮法  
津田梅子 ○ 割烹石井泰次郎 (世務) 家政上注意すべき訓令談法學士 日工 (鑛) の話 ○ 産業の實況 (史傳) 英女皇傳  
下田歌子 ○ 十九世紀の婦人 ○ 國史上の婦人 (譚) 暗流水谷不倒 ○ 教の梯子 ○ 鬼と農夫 ○ 武雄と文也 (詞藻) 兎親  
王遺詠 ○ 庚子夏日記坂正臣 ○ ひやぐ會詞藻 (雜錄) 清緯實歷談奧村五百子 ○ 床の間節心得松浦伯爵 ○ 圖案武村千  
佐子 (時事) 増税問題 ○ 私立大學 (彙報) 愛國婦人會其他

醫學博士  
三宅秀  
先生著



全一冊

總クローヌ綴金文字入り  
定價金六十錢 郵税金六錢

此書は醫學の泰斗たる三宅秀先生が文部省の囑託に由り各府縣師範學校高等女學校の女教員方を集め夏期講習會を開きて講義されたるものを此度大日本女學會より發行せられたるなり書中衣服・飲食物・住居・育兒・看病の五篇に別ち細密其衛生法を示し我國一般の民度に應じて實行し易き様に説明せられたり家政を主る人々に取りて此上なき有益の良書たるは勿論教育の任に當る人々にも缺くべからざる參考書なり

發行所  
大賣捌

東京市麴町區土手  
三番町二十八番地  
東京市神田區一ツ  
橋通町七番地

大日本女學會  
有斐閣

# 新刊

東京府第一高等女學校教諭溝口鹿二郎先生編纂

## 女學 校用算術教科書

全二冊

上卷 金五拾五錢  
下卷 金五拾錢

女子の算術上の智識は、深く理論に入るを要せず。唯理論に基きたる必要なる少數の事實を、精密に且明瞭に會得せしめ、是を自在に運用せしめんことを必要とす。本書は此趣旨に基き、先生が多年女子教育に従事せられし經驗に依り、女子に必要にして且最普通通近なるものを載せ、以て他日一家を治むる時に於て、是を運用して家計其他複雑なる數學上の問題を、明瞭に理解し得べき根柢を得しめんがために著はされたるものにして、處々に少しく困難なる理論、或は例題等を挿まれたるは、理論を全然不必要なりとして顧みざるが如き偏見にあらざるを見るべし。高等女學校の好教科書たるは勿論、一般婦人方の好參考書たるべし。

文學士芳賀矢一先生校閱 山根勇藏先生著

## 女子普通文典

全一冊

定價 金五拾五錢

本書は、多年雜誌「女鑑」の主筆として、其時各學校國語科講師として、最も語學教授に經驗多き山根先生の著に成り、至難なる我邦文法を、最明瞭に最簡易に學び得しむべき良書にして、各女學校の好教科書たるは勿論、一般學生方の好參考書なりといふべし。

發行所 東洋社 東鎌 京倉 市町 神三 田番 區地

此廣告に依り御注文の方婦人の子供を見たる御附記を乞ふ

# 小説 醉人の妻

高等 小説

久保天隨筆

「醉人の妻」は純清高潔の小説なり。紊亂せる家庭の讀物にあらす、又墮落せる學生の讀物にもあらす。「醉人の妻」は文學上特殊の地位に立ちて一種の異彩を放つものなり。淫靡を好む者の讀物にあらす、又趣味低き者の讀物にあらす。誠に其思想を清新にし其感情を高尙にするに於て「醉人の妻」は倫を當代に絶つ。溫良なる家庭の讀物、淑女良妻賢母の讀物、學者教育家の必ず讀むべきものなり。

やま綴  
美麗と本

定價金五拾錢  
郵稅金六錢

發行所 東京市本郷區 育成會

女子高等師範學校溝田巴作先生編註

# 女子書翰文

文部省檢定齊  
上卷正價金貳拾五錢 下卷正價金貳拾八錢 郵稅各金四錢宛

# 女子習字帖

全四册

一巻金拾錢 二巻金拾壹錢 三巻金拾貳錢 四巻金拾五錢 郵稅各金貳錢宛

發兌元

東京市日本橋區本石町三丁目廿三番地

# 烏丸帖

上卷金拾八錢 下卷金貳拾錢 郵稅各金四錢宛

# 古今和歌集序

定價金貳拾五錢 郵稅金貳錢

金昌堂

新刊

全二册



# 新刊廣告

醫學博士 弘田 長校閣  
小兒科 木村 鉞太郎著

## 普通育兒法

定價七拾五錢  
郵税金拾錢

右發賣候也

東京市日本橋區本町三丁目

### 發行所

金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本石町三丁目

### 賣捌所

金昌堂

## 新刊講習用書

東宮侍講本居先生題詠○國語研究組合編纂

### 簡易日本小文典

全定價三拾錢  
冊一 郵稅四錢

●再版  
右書は刊行するや否や富山、大分、茨城、愛知、福井等の講習用書に採定せらるる本書内容の如何は言はずして知るべきなり。

長野高等女學校教諭 河野 齡藏 合著  
長野縣師範學校教諭 矢澤 米三郎

### 普通理科教科書

理化學及礦物之部全一冊●定價四拾錢●郵稅六錢●挿畫半餘入

●再版  
本書は刊行するや直に長野縣其の他の講習用書に採定せられ、忽ち再刊の榮を荷ふに至れり、乞ふ緒々愛顧を賜へ。

女子高等師範學校講師 東基一著

### 新編小學教授法

全定價四拾五錢  
冊一 郵稅六錢

●新刊  
教授汎論各論(小學尋常科高等科とも)ありて、簡單平易なること他に比類なし、蓋し講習用、教科書の白眉たるものならん

### 發行所

帝國通信講習會

東京市本郷區森川町一番地

### 發賣所

金昌堂

東京市日本橋區本石町三丁目廿三番地

明治三十三年四月五年一月五日(行發日五回一月每) (可許物便郵種) (認物便郵種) (行發日五回一月每) (可許物便郵種) (認物便郵種)

國語研究會編

新體 兒童の文例

五月中發行 製本優美  
定價金拾錢 郵税金貳錢

小學校に於ける諸學科の内、兒童の最困難するは國語科中の綴方なり。とは世人の齊しく唱ふる所なり、綴方教授實に困難なるに相違なきも教授法の研究未だ足らず方法宜しきを得ざる責もなしと謂ふべからず、本書は先きに小學國語綴方教授書を出して兒童の發達階段に留意し其の思想に適合せる教材を選び方法を採るべき模範を示し、大に世に歡迎せられたる國語研究會の編したるもの、文題悉く兒童的にして更に又兒童的思想と兒童的表出と綴り得て遺憾なきは是れ實に本書の特色なり、決して世にありふれたる「寸楮拜啓、御座候」のものにあらず、されば尋常科二四學年、同補習科、高等科一二學年生徒の模範文とするに最適せり、且つ紙質製本共に頗る優美なれば賞與品に適せり。

新體 兒童普通文例

新體 女兒のたまづさ

近刊

發行書肆

東京市日本橋區本石町三丁目廿三番地

金昌堂